

双松公園



双松公園は南陽市宮内にある丘陵の公園です。その麓には日本三熊野のひとつと称される熊野大社があります。宮内の町並みから米沢盆地を一望し、その向こうには吾妻連峰まで見渡せる景勝地にあります。

公園内には、双松公園の名の由来ともなった、県指定天然記念物「妹背の松」があります。また春には市指定天然記念物「慶海桜」や「眺陽桜」など数多くの桜が見事な事で知られ、置賜さくら回廊のひとつになっています。

さらに、公園内には「双松バラ園」が併設され6月～7月にはバラ祭りが開催されます。秋には南陽市の伝統的な祭りである「菊まつり」の会場としても親しまれてきました(平成22年まで)。

都市公園 双松公園は、市民に親しまれる公園、憩いの公園づくりをめざしています。

主な見所

- 県指定天然記念物「妹背の松」
- 市指定天然記念物「慶海桜」
- 市指定天然記念物「眺陽桜」
- 琴平神社
- 琴平杉
- つつじ、さつき
- 双松バラ園(バラ祭り期間中のみ有料、その他の時期は無料)

主な行事

- 南陽のバラまつり
- 南陽の菊まつり(平成22年まで、現在は中央花公園で開催されています)